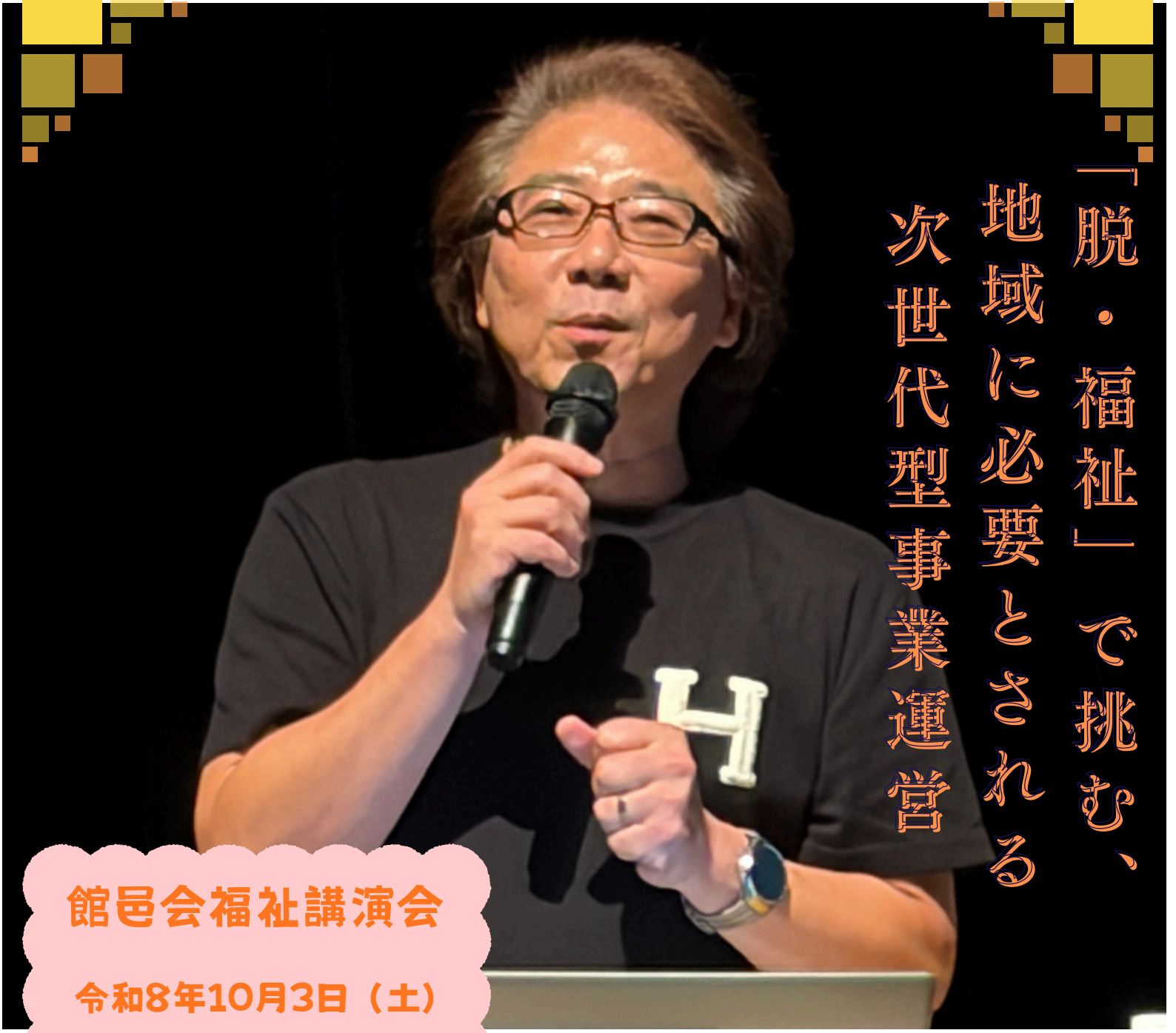
館邑会 KANOUKAI

One team
for the future
on the community

2026年度 ようこうだより

YOUKOUDAYORI

社会福祉法人館邑会広報誌



「脱・福祉」で挑む、
地域に必要とされる
次世代型事業運営

館邑会福祉講演会

令和8年10月3日（土）

邑楽町中央公民館

綿　祐二 様にご登壇いただきました

職員72 名 一般27 名 計 99 名

ご参加ありがとうございました

CONTENTS

ごあいさつ・事業所紹介	2-6
役員・管理者紹介	7
寄付・寄贈・表彰	8
委員会・苦情報告	9
事業・決算報告	10-12

ごあいさつ

理事長　山本　樹
（令和５年６月２６日就任）

当法人は、昭和56年に邑楽館林地区に障がい者支援施設を開所して以来、地域の皆様や行政の皆様に支えられながら、障がい福祉の充実に努めてまいりました。
障がい福祉を取り巻く環境が変化する中、現在は一人ひとりの個性や希望に応じた支援と、地域に根ざしたきめ細やかなサービスの提供が求められています。
令和8年度は開所45周年を迎え、法人パンフレットとPR動画を制作いたしました。
また、4月には「ひろがるWAラボ」と「基幹相談支援センターしろっこ」が開所し、法人全体で9拠点となりました。さらに、令和10年度には公園利活用による新たな事業所の開所を予定しています。
今後も地域とのつながりを大切にし、一人ひとりが自分らしく安心して暮らせる地域づくりに取り組んでまいります。
結びに、地域の皆様ならびに行政の皆様の、より一層のご理解とご協力、ご指導を賜りますようお願い申し上げ、挨拶といたします。







陽光園

勤続9年　生活支援員
倉澤　将人

陽光園では、利用者さんが毎日を安心して楽しく過ごせるよう、職員が寄り添いながら支援を行っています。一人ひとりのペースや好みに合わせて、無理なく参加できる活動を工夫しています。毎日のスケジュールは写真やイラストを使って分かりやすく示し、見通しを持って過ごせるようにしています。園外への散歩や軽い運動も取り入れ、気分転換やリフレッシュの時間を大切にしています。
また、年に数回のお楽しみ企画では、キッチンカーの来園や特別なおやつ作りなど、普段とは少し違う体験を楽しんでいただいています。利用者さんの笑顔があふれる時間で、保護者の皆さまにも好評です。
これからも、陽光園に来ることが「楽しみ」と感じてもらえるよう、職員一同で温かい環境づくりと多彩な活動の提供に努めてまいります。







ふらっぐ

勤続9年　主任 職業指導員
尾形　大地

ふらっぐでは「自分らしく働き自分らしく生きる」を考えながら
日々の支援を行っています。自転車で様々な人に挨拶をしに行く自分、
人と話すのが好きな自分、お話は苦手だが黙々と作業を行う自分、
色々な「自分」に合った作業内容を日々見つけていき今では
自転車でパンの材料を地域のお店にとりに行く作業、
挨拶をしながらパンの配達に行く作業、黙々と備品のチェックをする作業、
自分らしい作業の提供ができています。
これからも日々の作業を通しながら職員一同自分らしい働きを見つけていきます。また、以前より様々なイベントに出店販売しており市民フェスタや七夕祭りなどへ出店しました。今年度は近藤沼夕涼み会や育成会大会など新たなイベントにも多数出店しておりそのなかで地域の公民館祭に
出店依頼のお声も頂きました。
これからも地域のつながりを大事にしながら
みんなの「自分らしく生きる」を見つけていきたいです。



GOOD JOB

勤続9年　生活支援員
大木　翔太

GOOD JOBでは、企業のスペースをお借りしながら多様な作業に取り組んでいます。メンバー一人ひとりが成功や失敗を経験し、その積み重ねが「できた」という実感につながり、自信や成長を育んでいます。
主な作業は、公園清掃、リサイクル物やヨーグルト容器の分別、車の部品の解体・分別など多岐にわたります。日々の真面目な作業姿勢が評価され、業者様から新たな清掃作業を任されることにもつながりました。これまでの経験を生かしながら、メンバー自身が工夫し、考え、仕事の楽しさや達成感とともに、仕事に対する責任感もしっかりと育まれています。
また、新規事業として令和8年9月より就労定着支援事業を開始しました。就職した方が安心して働き続けられるよう、仕事や生活に関する相談に応じ、職場や関係機関と連携しながら支援を行うサービスです。今年度は3名のメンバーが就職を実現しました。職員は、就労定着支援を通じて、就職したメンバーが長く働き続けられるよう継続的にサポートしていきます。今後も、関係機関や業者様、地域の皆様との交流を大切にしながら、より一層の地域貢献をめざし、メンバーとともに歩み続けていきたいと考えています。



ひろがるＷＡラボ

勤続30年　管理者
新井　昭代

『ひろがるＷＡラボ』がスタートしました！
ひろがるＷＡラボは、令和8年4月1日、館邑会の新しい事業所としてスタートしました。生活介護事業と就労継続支援Ｂ型事業の2つの事業を行う、多機能型事業所です。これまで明和町地域活動支援センターとして運営されていた事業を、障害福祉サービス事業所として館邑会が担っていくこととなりました。地域活動支援センターの皆さんも、就労継続支援Ｂ型事業を利用することになり、館邑会の仲間に加わることとなりました。現在は、生活介護を利用される方も少しずつ増え、事業所もさらに活気が出てきています。
「ひろがる」には、自分の可能性と、人とのつながりがひろがっていくこと。
「ＷＡ」には、円・縁、そして和。ほっとできる場所と、人とのつながり。
「ラボ」には、安心してさまざまな体験や経験ができる場所。そんな思いを込めています。一人ひとりが安心して過ごし、自分らしくさまざまなことに挑戦できる。そして、人との出会いやつながりの中で、それぞれの可能性がひろがっていく。そんな居場所を目指して、スタッフ一同、力を合わせて取り組んでまいります。これから少しずつ、皆さんと一緒に「ひろがるＷＡラボ」をつくっていきたいと思います。皆さん、どうぞよろしくお願いいたします！

しろっこ

勤続3年　管理者
辻　光弘

今年４月、基幹相談支援センター「しろっこ」が開所しました。多くの方々の思いを受け継ぎ、地域の皆さんと共に、新しい一歩を踏み出しています。日々様々な相談に耳を傾けながら、人と人、暮らしと制度をつなぎ、これからの地域の姿を一緒に考えています。
私たちが目指すのは、昔の地域を取り戻すことではなく、これまで大切にされてきた思いや支え合いを、今の暮らしに合った新しい仕組みとして育てることです。地域の皆さんや関係機関と知恵を持ち寄り、小さな出会いや気づきを、次の一歩につなげていきたいと思っています。
地域づくりには、楽しさも大切です。気軽に集まり、おしゃべりをしたり、「こんなことができたらいいね」と夢を語ったり。そんな時間を重ねながら、共に考え、試してみることを楽しんでいきたいと思います。
しろっこの夢は、困ったときには安心して頼れ、誰もが自分らしく暮らし、互いの力になれる地域を育てることです。人と人のあいだに生まれる小さなつながりが、やがて地域の文化となり、次の世代へ受け継がれていく。その未来を、皆さんと共につくっていきたいと願っています。

基幹相談支援センター
しろっこ

ほっと

勤続3年　相談支援専門員
江原　久美子

私たちの日常にはどこにでも「相談」があります。
「相談」は市町村、障害福祉サービス提供事業所や病院、学校等でも行われていますが「ほっと」が行う相談は障害児（者）やその家族にとって、悩みや困り事の相談はもちろん、福祉サービスやサポートに繋がるための相談を行っています。
例えば、生活面で必要な情報提供やアドバイス、そして相談者にとって必要な障害福祉サービスの利用につながる支援や、関連機関との連絡や調整等を行います。
日々、業務の中でどうしたら相談者に寄り添ったご支援ができるか、その方にとって最善の方法は何かを考えています。
相談者にとって前向きになり、輝ける「場所」をご紹介できた時や、地域の中でもご本人が望む生活を送り、充実した日々を過ごされている姿を見ると相談員としてもこの上ない喜びと関係事業所への感謝の気持ちが溢れます。
良いことばかりではない世の中ですが、「ほっと」全員で力を合わせながら、少しずつ相談者の方々と共に進んでいけたらいいなと思っております。
これからも相談者、関係事業所とのご縁に感謝しながら、
相談者の伴走者として日々精進していきたいと思います。



第二陽光園

勤続12年　主任　生活支援員
千葉　克真

今年の夏は全国的に悪天候や台風が多い印象でした。館林邑楽圏域は雨は降ることはありましたが例年に比べると涼しく過ごしやすい夏だったと思います。ご家族の皆様はいかがお過ごしでしょうか。第二陽光園利用者の皆さんは大きく体調を崩すことなく日々生活を送っております。第二陽光園は男性１５名、女性１７名の利用者さんが暮らしています。昨年度より班活動を終了し、日中は第二陽光園内外で歩行運動や散歩などで体力低下の防止や維持への取り組み、折り紙やお絵描き、プットイン活動など利用者さん一人ひとりに合わせた日中活動を提供しています。また、キッチンカーを招いてのお楽しみ会や夕涼み会、毎月のお楽しみ会といった利用者さんの日々の生活に彩を添えられるような行事を企画・開催しています。おいしいものを食べた時の表情や新しい日中活動に挑戦し見事達成できた時の喜びを利用者さんと一緒に職員も共有させて頂いております。今後も利用者さんが第二陽光園での生活で笑顔や喜ぶ姿が見られるように職員一丸となって一層支援に励みたいと思います。



がじゅまる

勤続3年　主任　生活支援員
船渡川　達

私たちがじゅまる職員は、入居されている皆様が「自分らしく、ありのままの姿でいられる」ため、安心して生活できる環境・雰囲気づくりを行っています。
「いまよりも少しだけ自分で決められることが増える」ことに重きを置き、入居者一人ひとりの個性や表現、ペースに沿ったお手伝いを行っています。入居している皆様の気持ちに寄り添い、ともに考え、自分の生活に関わることについて自分で選び、決めることができるよう温かくサポートさせていただいています。
「がじゅまる」の大木のように地域にしっかりと根を張り、入居者の皆様が心地よく自分らしく暮らせる「第二の家」として、ともに歩んでいけたらいいなと考えています。









てんしゃば

勤続1年　生活支援員
針谷　幸代

てんしゃばでの楽しみの一つは、世話人職員が心を込めて作る美味しいごはんです。毎日の食事は栄養バランスも考えられており、「今日のごはんは何かな？」と楽しみにしながら食卓を囲んでいます。外出の際は普段とは違う景色や美味しい食事、買い物などを楽しんでいます。また地域のお祭りに参加し、地域の方々との交流や楽しい時間を過ごしています。
てんしゃばでは日々の生活の中で一人ひとりが自分でできることを大切にしています。食事の準備や片付け、身の回りのことなど、できることを少しずつ増やし、自分らしく生活できるよう支援しています。
これからも楽しい経験やさまざまな活動を通して、一人ひとりの「やってみたい」という気持ちを大切にしながらできることを増やし、充実した毎日を過ごしていきたいと思います。







役員・管理者紹介

【理事】
任期：令和9年6月定時評議員会まで
- 山本　樹　　（理事長）
- 太田　俊雄
- 多田　征訓
- 大竹　喜代子　（邑楽町社会福祉協議会会長）
- 大谷　恵
- 中村　建児　　（ほっと管理者）
- 仁木　紀行

【監事】
任期：令和9年6月定時評議員会まで
- 田沼　俊彦
- 神長　泰弘

【評議員】
任期：令和11年6月定時評議員会まで
- 前山　秀樹　（善長寺住職）
- 三田　正信　（館林市社会福祉協議会会長）
- 峯﨑　俊雄　（板倉町社会福祉協議会会長）
- 立木　留吉　（明和町社会福祉協議会会長）
- 森田　榮　　（千代田町社会福祉協議会会長）
- 細田　順一　（大泉町社会福祉協議会会長）
- 小林　茂
- 内田　雅行　（邑楽町民生委員・児童委員協議会会長）

【評議員選任解任委員】
任期：令和9年6月定時評議員会まで
- 塚越　健市
- 飯塚　香
- 田中　良治

【第三者委員】
- 田口　範雄　（令和９年３月３１日まで）
- 大塚　勇　　（令和１０年３月３１日まで）
- 田村　恵子　（令和１１年３月３１日まで）

事務局長
- 田中良治（令和3年4月就任）

【通所】
陽光園　　（昭和56年4月）
生活介護　定員55名
- 木村　夏子（令和8年4月就任）

ひろがるWAラボ　（令和8年4月）
- 新井　昭代（令和8年4月就任）

ふらっぐ　　（平成21年10月）
就労継続支援B型　定員20名
- 鰐石　英男（令和3年4月就任）
- 村山　早苗（令和8年4月就任）

GOOD JOB　（平成30年4月）
就労継続支援B型　定員20名
- 鰐石　英男（令和8年4月就任）
- 松田　育子（令和8年4月就任）

【相談】
ほっと　　（平成19年1月）
一般相談、特定相談、障害児相談
- 中村　建児（令和8年4月就任）
- 中田　陽子（令和7年4月就任）

しろっこ　　（令和8年4月）
- 辻　　光弘（令和8年4月就任）

【入所】
第二陽光園　　（平成8年4月）
施設入所支援・生活介護　定員35名
短期入所　定員4名　日中一時支援
- 程原　一行　（令和3年4月就任）

てんしゃば　　（平成17年2月）
共同生活援助包括型　定員19名
- 遠藤　真由実　（令和7年4月就任）

がじゅまる　　（令和5年10月）
共同生活援助日中型　定員16名
短期入所　定員1名
- 程原　一行　（令和5年10月就任）

寄　付　・　表　彰

【寄　付】

期間：令和７年11月～令和８年11月

＜団　体＞

- **館邑会後援会　様**　（令和７年1月27日）
- **館林市手をつなぐ育成会　様**　（令和８年7月10日）

＜個　人＞

- **西澤悦子　様**　（令和８年9月29日）

ご厚情により感謝申し上げます。お名前のみの記載となります。

【表　彰】

- 群馬県知的障害者福祉協会永年勤続表彰（10年）

所属・職名は令和7年12月推薦時

第二陽光園	生活支援員	小林　良美
ふらっぐ	生活支援員	佐藤　泉

- 群馬県手をつなぐ育成会会長表彰（8年）

所属・職名は令和8年5月推薦時

第二陽光園	主任　栄養士	上岡　静香
	生活支援員	高野　春子
	生活支援員	山根　朋絵
ふらっぐ	主任　生活支援員	尾形　大地
ほっと	主任　相談支援専門員	永澤　祐介
	コーディネーター	小川　智代子
GOOD JOB	生活支援員	大木　翔太
	生活支援員	江原　香珠代
	生活支援員	青山　勝江

委員会・苦情報告

• 人権倫理委員会　　中田陽子

「人権と尊厳を大切にした支援を目指して」

私たちの法人では、利用者の皆さまの人権と尊厳を守るため、人権倫理委員会として、身体拘束適正化委員会・虐待防止委員会を合わせて開催しています。

日々の支援を振り返る中で、「この関わりは本人にとってどうだろう」と考えることは、人権を守るうえで大切な視点です。

委員会では、不適切な事案についても職員個人を責めるのではなく、その背景や要因を振り返り、より良い支援につなげています。また、日頃の小さな気づきも職員同士で共有し、支援を見直すきっかけとしています。

こうした積み重ねを大切にしながら、利用者の皆さまが安心して自分らしく過ごせる支援を、法人全体で目指していきます。

• 研修委員会　　遠藤真由実

令和８年度は、サービス管理責任者を中心に「館邑会キャリアパス」完成に向けて、準備を進めて参りました。キャリアパス制度は、職員が将来どのような役割や立場を目指し、どのように成長していくかを明確にする仕組みです。職員の成長が利用者の方々へのより良い支援に繋がり、法人全体の質の向上につながるよう仕組みを整えているところです。キャリアパス制度に基づき、職員一人ひとりの成長や役割に応じた研修を実施し、より実践的で意義のある人材育成につなげていきたいと考えています。

• 苦情解決委員会　　木村夏子

令和7年度下半期から令和8年度上半期にかけて、第三者委員会を開催いたしましたのでご報告申し上げます。期間中、法人内の苦情件数は6件であり、いずれも各事業所内で丁寧に対応し、解決に至っております。第三者委員の関与を要する事案はなく、いずれも日常的な支援の中で適切に対応できる内容でした。また、各事案について第三者委員の皆様へ詳細を共有し、助言をいただきながら対応を進めてまいりました。今後も透明性を確保し、誠実な苦情対応に努めてまいります。

• 苦情処理件数報告

令和7年度第2回・令和8年度第1回

事業所名	件数	事業所名	件数
陽光園	1	第二陽光園	2
ふらっぐ	0	がじゅまる	0
GOOD JOB	0	てんしゃば	0
ほっと	3		

令和７年度 事業報告

１．はじめに：法人理念の体現
令和7年度、当法人は「地域の方たちとワンチームになり、誰もが輝ける社会をつくる」という理念のもと、利用者一人ひとりの希望やペースを尊重し、安心して自分らしく暮らし、働ける支援に取り組みました。

２．事業運営の概況
【陽光園】生活介護では、本人のペースや好みに合わせた活動、散歩・運動・お楽しみ企画を実施。老朽化対策として、陽光園から新拠点への段階的移行を検討しました。
【第二陽光園】施設入所支援・生活介護では、歩行・散歩、折り紙・お絵描き・プットイン活動、お楽しみ会等を実施。女性棟の個室化を検討しました。
【てんしゃば】共同生活援助包括型では、職員手作りの食事、外出・買い物・地域行事を支援。定員増について、需要と経営バランスを踏まえ検討しました。
【ほっと】一般相談・特定相談・障害児相談として、障害児・者や家族の相談、情報提供、福祉サービス利用支援、関係機関との連絡調整を行いました。
【ふらっぐ】就労継続支援B型では、パン材料の受け取り・配達・備品確認等、本人に合った働き方を支援しました。
【GOOD JOB】就労継続支援B型では、請負作業を依頼してくださる業者様のもとで、公園清掃、リサイクル物・ヨーグルトの分別、車部品の解体・分別等に取り組みました。
【がじゅまる】共同生活援助日中型では、入居者の選択・決定を尊重し、自分らしく安心して暮らせる住まいを支援しました。

３．重点項目の達成状況
財務状況は法人全体で約3,400万円の黒字となりました。一方、事業所間の収支差が課題となりました。新卒採用の難しさを踏まえ、学生対象の就職説明会への参加を開始しました。

４．施設整備・長期重点事項
基幹相談支援センターの開所準備を進め、1市4町と連携した地域支援体制の充実を図りました。ひろがるWAラボは、生活介護と就労継続支援B型の多機能型事業所として令和8年4月1日開所に向け準備しました。
栄町新事業所は助成金不採択を受け、建物縮小・設計見直しを行いました。陽光園から新拠点への段階的移行、てんしゃばの定員増も引き続き検討しました。
AIを活用した記録システムの導入、災害時の職員安否確認訓練を実施・検討しました。

５．委員会活動・法人行事
研修、人権倫理、苦情解決、危機管理、広報等の各委員会を機能させ、支援の質と法人運営の改善に取り組みました。人権倫理では身体拘束適正化・虐待防止を確認し、苦情は事業所内で対応・解決しました。
秋まつりは、従来の大規模開催から各事業所でキッチンカーを招く小規模イベントへ変更し、利用者がゆったり楽しめる機会としました。
理事会を7回、評議員会を6回開催し、透明性の高い経営に努めました。

６．今後の展望と課題
令和8年度は、栄町新事業所の再整備、基幹相談支援センターを核とした1市4町との地域連携、ひろがるWAラボの運営を進めます。陽光園から新拠点への段階的移行、てんしゃばの定員増、新卒採用、人材育成、AI記録システムの活用を継続します。計画の修正を余儀なくされる場面もありましたが、地域に必要とされる法人を目指し、利用者・家族・地域とともに歩みます。

令和７年度 決算報告

資 金 収 支 計 算 書

（自）令和 7年 4月 1日 （至）令和 8年 3月31日

（単位：円）

勘定科目			予算(A)	決算(B)	差異(A)－(B)
事業活動による収支	収入	就労支援事業収入	51,688,000	53,848,510	△2,160,510
		障害福祉サービス等事業収入	815,633,000	799,647,913	15,985,087
		その他の事業収入	6,609,000	5,840,312	768,688
		経常経費寄附金収入	3,021,000	3,019,870	1,130
		受取利息配当金収入	878,000	1,054,001	△176,001
		その他の収入	5,885,000	5,818,626	66,374
		事業活動収入計(1)	883,714,000	869,229,232	14,484,768
	支出	人件費支出	634,849,000	596,307,539	38,541,461
		事業費支出	90,721,000	83,222,006	7,498,994
		事務費支出	92,563,000	83,051,825	9,511,175
		就労支援事業支出	51,688,000	51,665,878	22,122
		支払利息支出	260,000	201,241	58,759
		事業活動支出計(2)	870,081,000	814,448,489	55,632,511
		事業活動資金収支差額(3)=(1)－(2)	13,633,000	54,780,743	△41,147,743
施設整備等による収支	収入				
		施設整備等収入計(4)	0	0	0
	支出	設備資金借入金元金償還支出	3,504,000	3,504,000	0
		固定資産取得支出	13,705,000	12,969,070	735,930
		施設整備等支出計(5)	17,209,000	16,473,070	735,930
		施設整備等資金収支差額(6)=(4)－(5)	△17,209,000	△16,473,070	△735,930
その他の活動による収支	収入	積立資産取崩収入	10,323,000	10,332,102	△9,102
		拠点区分間繰入金収入	13,500,000	13,500,000	0
		その他の活動による収入計(7)	23,823,000	23,832,102	△9,102
	支出	積立資産支出	6,813,000	6,339,992	473,008
		拠点区分間繰入金支出	13,500,000	13,500,000	0
		その他の活動支出計(8)	20,313,000	19,839,992	473,008
		その他の活動資金収支差額(9)=(7)－(8)	3,510,000	3,992,110	△482,110
		予備費支出(10)	18,100,000 0	—	18,100,000
		当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)－(10)	△18,166,000	42,299,783	△60,465,783

前期末支払資金残高(12)	505,020,000	505,021,324	△1,324
当期末支払資金残高(11)+(12)	486,854,000	547,321,107	△60,467,107

事 業 活 動 計 算 書

（自）令和 7年 4月 1日 （至）令和 8年 3月31日

（単位：円）

勘定科目			当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)－(B)
サービス活動増減の部	収益	就労支援事業収益	53,848,510	58,409,810	△4,561,300
		障害福祉サービス等事業収益	799,647,913	792,772,766	6,875,147
		その他の事業収益	5,840,312	2,169,800	3,670,512
		経常経費寄附金収益	3,019,870	5,852,320	△2,832,450
		サービス活動収益計(1)	862,356,605	859,204,696	3,151,909
	費用	人件費	597,199,531	586,472,513	10,727,018
		事業費	83,278,480	82,895,675	382,805
		事務費	83,167,723	58,589,481	24,578,242
		就労支援事業費用	51,609,866	54,435,558	△2,825,692
		減価償却費	25,140,483	25,199,180	△58,697
		国庫補助金等特別積立金取崩額	△8,660,271	△8,763,625	103,354
		サービス活動費用計(2)	831,735,812	798,828,782	32,907,030
		サービス活動増減差額(3)=(1)－(2)	30,620,793	60,375,914	△29,755,121
サービス活動外増減の部	収益	受取利息配当金収益	1,110,475	209,473	901,002
		その他のサービス活動外収益	5,818,626	9,350,425	△3,531,799
		サービス活動外収益計(4)	6,929,101	9,559,898	△2,630,797
	費用	支払利息	201,241	229,096	△27,855
		その他のサービス活動外費用	0	4,026,500	△4,026,500
		サービス活動外費用計(5)	201,241	4,255,596	△4,054,355
		サービス活動外増減差額(6)=(4)－(5)	6,727,860	5,304,302	1,423,558
		経常増減差額(7)=(3)+(6)	37,348,653	65,680,216	△28,331,563
特別増減の部	収益	拠点区分間繰入金収益	13,500,000	5,282,274	8,217,726
		拠点区分間固定資産移管収益	597,600	73,781	523,819
		その他の特別収益	0	30,000	△30,000
		特別収益計(8)	14,097,600	5,386,055	8,711,545
	費用	固定資産売却損・処分損	123,595	1	123,594
		拠点区分間繰入金費用	13,500,000	3,580,963	9,919,037
		拠点区分間固定資産移管費用	597,600	0	597,600
		その他の特別損失	2,904,000	0	2,904,000
		特別費用計(9)	17,125,195	3,580,964	13,544,231
		特別増減差額(10)=(8)－(9)	△3,027,595	1,805,091	△4,832,686
		当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	34,321,058	67,485,307	△33,164,249
繰越活動増減差額の部		前期繰越活動増減差額(12)	565,714,200	498,228,893	67,485,307
		当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	600,035,258	565,714,200	34,321,058
		基本金取崩額(14)	0	0	0
		その他の積立金取崩額(15)	10,000,000	0	10,000,000
		その他の積立金積立額(16)	5,000,000	0	5,000,000
		次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)－(16)	605,035,258	565,714,200	39,321,058

令和７年度 決算報告

法人単位貸借対照表
令和 8年 3月31日現在

（単位：円）

資産の部				負債の部			
	当年度末	前年度末	増減		当年度末	前年度末	増減
流動資産	575,494,754	538,857,480	36,637,274	流動負債	31,184,469	36,902,990	△5,718,521
現金	700,000	700,000	0	事業未払金	19,599,586	25,692,639	△6,093,053
預金	452,930,057	410,006,766	42,923,291	1年以内返済予定設備資金借入金	3,504,000	3,504,000	0
事業未収金	120,812,914	127,149,168	△6,336,254	預り金	379,908	160,000	219,908
貯蔵品	151,211	0	151,211	職員預り金	7,700,975	7,546,351	154,624
原材料	341,967	437,166	△95,199	固定負債	31,452,852	34,015,356	△2,562,504
前払金	558,605	564,380	△5,775	設備資金借入金	20,108,000	23,612,000	△3,504,000
固定資産	511,486,560	530,744,072	△19,257,512	退職給付引当金	11,344,852	10,403,356	941,496
基本財産	326,762,204	342,235,486	△15,473,282	負債の部合計	62,637,321	70,918,346	△8,281,025
土地	120,028,275	120,028,275	0	純資産の部			
建物	205,467,953	219,143,161	△13,675,208	基本金	168,572,625	168,572,625	0
建物付属設備	1,265,976	3,064,050	△1,798,074	基本金	168,572,625	168,572,625	0
その他の固定資産	184,724,356	188,508,586	△3,784,230	国庫補助金等特別積立金	132,060,110	140,720,381	△8,660,271
建物	21,201,772	22,142,656	△940,884	国庫補助金等特別積立金	132,060,110	140,720,381	△8,660,271
建物付属設備	727,523	1,615,973	△888,450	その他の積立金	118,676,000	123,676,000	△5,000,000
構築物	329,080	467,499	△138,419	移行時特別積立金	27,086,000	27,086,000	0
機械及び装置	4,508,960	4,859,422	△350,462	施設整備積立金	65,500,000	70,500,000	△5,000,000
車輌運搬具	8,570,467	9,584,468	△1,014,001	人件費積立金	21,500,000	21,500,000	0
器具及び備品	13,901,232	11,520,863	2,380,369	修繕費積立金	4,590,000	4,590,000	0
建設仮勘定	4,320,000	2,904,000	1,416,000	次期繰越活動増減差額	605,035,258	565,714,200	39,321,058
リサイクル預託金	294,500	375,020	△80,520	次期繰越活動増減差額	605,035,258	565,714,200	39,321,058
権利	549,970	592,970	△43,000	（うち当期活動増減差額）	34,321,058	65,710,215	△31,389,157
ソフトウェア	0	66,359	△66,359				
退職給付引当資産	11,344,852	10,403,356	941,496				
差入保証金	300,000	300,000	0				
移行時特別積立	27,086,000	27,086,000	0				
施設整備積立資産	65,500,000	70,500,000	△5,000,000				
人件費積立資産	21,500,000	21,500,000	0				
修繕費積立資産	4,590,000	4,590,000	0	純資産の部合計	1,024,343,993	998,683,206	25,660,787
資産の部合計	1,086,981,314	1,069,601,552	17,379,762	負債及び純資産の部合計	1,086,981,314	1,069,601,552	17,379,762

“お知らせ”

インスタフォローお願いします！

- 当法人の各行事やイベント、研修会など利用者様や職員の日常を投稿しています♪
- 誌面には掲載できなかった内容もたくさん紹介しています！

基本理念

私たちは、地域の方たちとワンチームになり
誰もが輝ける社会をつくります。

館邑会 KANOUKAI

One team
for the future
on the community

〒370-0614　群馬県邑楽郡邑楽町赤堀８３６－１
TEL.0276-89-0600　FAX.0276-88-6930　https://kanoukai.jp/
発行者：社会福祉法人館邑会

編集後記

11月に入り一気に寒くなりましたね。
体調には十分に気をつけてください。

原稿を初めて投稿してくれた職員も多いです。
ここまで読んでくださり、ありがとうございました。

